

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 静園

作成日: 平成30年 9月19日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	入居者や家族との関係性を深める働きかけがなされている一方で、職員の入退職の周知不足や、面会頻度の少ない遠方の家族については現状の把握がしやすい状況とは言い難い様子が窺えます。推進会議への参加の呼びかけや、便りの工夫等、家族との距離をさらに縮める取り組みを期待したい。	毎月のお便りに工夫し、生活の様子が解るよう、家族との距離を縮める努力をしていきたい。	お便りの空欄を利用し、写真を取り込み、その月の様子が解るよう、また運営推進会議やイベント等への参加の声かけを行い、家族との距離を縮められるよう努力する。	3ヶ月
2	35	今回運営推進会議において自然災害時の一時避難場所を周知し有事の際のホームの対応の理解に努めた。ただし、備蓄品については更に必要物品の追加の必要があり、今後の備えを施設長も課題と捉えています。現在、風水害訓練については地震時の対応を口頭で確認するに留まっているため、今後様々な状況に対応できる実効性の高い訓練の実施が望まれます。	自然災害時の停電を解消する為の発電機の購入検討する。	予算の問題はあるが今年度中の発電機を手に入れる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。